

組会開催の
報告

4月10日(月)
員弁組組長事務所
(桑名市赤尾・淨光寺内)で
員弁組組会が開催されました。

員弁組39か寺の組会議員63名が出席し、
① 平成28年度の活動・決算報告
② 平成29年度の活動計画・予算案
③ 東海教区教務所・名古屋別院からの
事務連絡が行われ、平成29年度員弁組
組会が開催されました。



写真：広報部 木村祐邦
(教樂寺)

連研で「?」を話し合いから学びましょう。

第11期員弁組連続研修会

「本当の仏事の作法やお参りの仕方」から、「私の家の仏教とはどんなものなのかな？」などを学び・考えていただき、ふだんあなたが「？」と思うことを問える集まりです。約1年間、毎月1回どこかのお寺で開催します。4年に1度のご縁です！お気軽にご参加下さい。

○参加の申込 参加費3,000円を添えて所属の寺院まで
○開講式 7月8日(土)午後7時より常満寺で開催

「員弁組連研」は、1979(昭和54)年から始まりました。約1000名の仲間が、浄土真宗の仏事やみ教えを学び、「門徒とは、僧侶とは、そして私とは」を問い合わせ、生きる糧としてきました。

第11期連続研修会 参加募集要項より

ごえんさんかうの
謎解き挑戦状！

★解答編

黄色のワード 伝灯奉告法要団体参拝

団体参拝 略して「団参」【だんさん】

集団で参拝することの略称です。このほかにも750回大遠忌や各講主催による大谷本廟への納骨団体参拝などがあります。

緑色のワード

第二十五代専如【せんにょ】上人(大谷光淳様)
2014年6月6日に法燈を継承されました。

本願寺派の門主というお立場と、本願寺、築地本願寺、各別院の住職も兼任されています。

広報部 松原大(光明寺)



伝灯奉告
法要
(第2回)

3月29日朝、伝灯奉告法要参拝のために員弁組団体参拝(組団参)一行の観光バス5台195名は京都を目指した。昨年10月4日に続き、第2回目の組団参である。今回は組内13ヶ寺のご参加をいただき、午前は東本願寺に参拝し、午後は西本願寺の法要に参拝した。

先回と違うのは、うち2台67名が有馬温泉に一泊した。宿泊

した建物のセキュリティが良すぎたり、迷路

のような館内に苦労した方が多かったようだが、名のある太閤の湯にも入っていただき、楽しいひと時をお過ごしいただけたと思う。2日目は一日観光で、兵庫県明石市にある魚の棚商店街、神戸にある震災を語り継ぐ「人と防災未来センター」、神戸ポートタワーを見学した。

それぞれの思いの中、東西両本願寺にお参りをして帰路についた。



主任 木村英昭(明法寺)
写真:組長 石本龍憲
(淨光寺)



ごえんさん、ちょっと教えて～

問 ききょうしき 帰敬式(おかみそり)とは？

答

「ご本山で法名をいただいたら……」と、あるご門徒に勧めたところ「あれは死んでからもらうんじゃないですか？」と聞き返されました。「釋〇〇」という「法名は死んでからの名前」と思っている方がいるのです。確かに、亡くなった時に、手次ぎのお寺の住職が法名をつけ、葬儀に臨まれることが多くあります。しかし、それはあくまで緊急の処置で、本来の姿ではありません。

そもそも、法名とは仏法に帰依した人の名前で、主に本願寺で行われる帰敬式(おかみそり)を受けた人に對して、ご門主から授与されるものなのです。つまり「佛教徒としての自覺を持って生きる」証しの名前であり、生きている間に授かるべき性質のものです。

葬儀の時、導師の住職が「おかみそり」を行うのは、生前、こうした帰敬式を受けることなく亡くなつたからで、ご門主に代わって行つてゐるのです。

まだ法名をいただいていないご門徒は、ぜひ帰敬式を受けられ、名実とも「浄土真宗の門徒」になってください。

参考文献: 「浄土真宗 新・仏事のイロハ」末本弘然 本願寺出版社



広報部 種村和人(眞願寺)